市民ネットワーク・のだが議会へ送り出した代理人、小室みえこの議会活動をお知らせします。　（年4回発行）

市民ネットワーク・のだ 通信

No.130
2019年7月

野田市議会議員
小室みえこ
野田市山崎2694 C-302

編集発行：市民ネットワーク・のだ　住所：野田市野田312　代表　鈴木真理子　Tel：7123-6981　Fax：7123-6982
http://www.shiminnetnoda.sakura.ne.jp　Eメール　shiminnetnoda@chorus.ocn.ne.jp

一人一人が自分ごとにするために 虐待防止対策を 検証

被害者も加害者も出さない！

3月議会では、8人の議員が一般質問に取り上げました。しかし、今議会では虐待関連の質問は小室のみでした。事件後の対策は始まったばかりであり、その対策がどのように防止策として機能するのか注視していかなければなりません。

小室　3月議会以降の虐待防止対策について、柏児童相談所との連携や野田市虐待事件再発防止合同委員会で出された意見や学校現場における防止策について伺います。

市政一般報告と答弁から

◇市職員は野田市虐待防止マニュアルではなく、千葉県のマニュアルのみを使っていました。→野田市虐待マニュアルを全面見直しすることに。

◇柏児童相談所との連携→児童虐待防止管理システムの導入（11月1日稼働予定）・・・連携不足が問題となった柏児童相談所との情報共有の強化のための専用回線を柏児童相談所に設置する。

◇学校現場の対策→①学校教育部に虐待担当主幹を兼ねて児童家庭主幹一人を配置、指導課にも虐待担当一人②ケースワーカーを2人増員③スクールロイヤー制度の導入。小中学校31校を4つのブロックに分け、各ブロックに一人の弁護士を配置。④教育委員会に非常勤特別職のアドバイザーとして弁護士一人を配置。

◇アンケートについて→①アンケートを実施する前に個人面談を行う。その時に各担任から今回のアンケートの取り扱いについて子どもたちに謝罪する。②アンケートに記載する文言を整理する。③保護者会も開催する。

◇組織強化→児童相談係を課として格上げして（仮称）子ども家庭総合支援課を設置し、DV関連も担当。

◇職員の研修→特にDV関連の知識を構築する必要がある。

◇子どもたちへのアプローチ→「SOSの出し方」の授業を実施。市長に相談できるよう料金受取人払いの封筒と用紙を配布。

小室　対策の実施と見直しを現場の声を聞きながら進めることが必要です。

子どもの権利条約の活用

虐待防止の支援策は重要ですが、子ども自身に危険や暴力から自らを守る力を引き出すために、「子供の権利条約」を活用すべきと考え見解を伺います。

学校教育部長　特に、虐待事件後に強化したことはないが、人権教育は学年に合わせた内容で学習しています。

小室みえこのコメント

虐待もいじめも「人権侵害」です。肝心の子どもたちに伝わっていません。無論この条約の核心として、**大人の意識も変える必要**があります。まさに、子どもたちが成人した時、子どもの人権を大事にする大人に成長し、暴力の無い社会を築いていってくれるはずです。加害者を生まない、自分自身を守り、困ったことが起きた時は助けを求め、傍観者も作らない社会は、弱い立場への理解、男女やLGBTへの理解も進むことにつながります。

小室みえこと市民ネットワーク活動報告

「免疫力を上げて 薬に頼りすぎない・暮らし方」

2019年6月17日（月）北コミュニティセンターにて街づくり協議会・のだ主催の講演会を開催しました。食事のこと、自然療法のこと、予防接種など自然派小児科医　高野弘之先生（豊受クリニック院長）にお話していただきました。

現代医療ではワクチンは乳幼児の短期間のうちに次々と受けることが奨励されています。母子手帳の予防接種のページはまるでスタンプラリーのような状況です。ワクチンには体に入れて欲しくない水銀などもはいっていてリスクもあります。はしか、おたふく、風疹など子どもの頃にかかっておけば免役ができ、ワクチンで抑えるより良いと考えられています。

子宮頸がんワクチンは副作用が問題視されており、全く不要だということです。また最近65歳以上の方に肺炎球菌ワクチンの接種を行うよう言われていますが、これもお勧め出来ないとおっしゃっていました。

キズの治療は、消毒しない・よく洗う（異物を残さない）乾かさないという湿潤治療を勧めています。消毒をしてしまうと傷口の再生に必要な常在菌まで殺してしまい、治癒力が低下し治りが遅いうえにきれいに治らない。ガーゼの付いていないキズ用テープを貼っておくだけで良いそうですよ。

先生のお話では「病気の原因を見ないで結果だけをみて治療にあたっていることが、病気が減らない・治らない大きな理由である」と考えられるとのことです。

対処療法で一時的に症状が改善されても、常在菌まで排除されてしまい、免疫力が低下し次の病気の発生に繋がってしまう事になるそうです。

薬も体にとっては異物を入れることになるのでそういう物に頼りすぎず免役力を高め、睡眠・食事・運動のバランスを整える。基を正せば身体は修正され健康になっていくのだという事を改めて考えるきっかけになりました。

『クスリやワクチンに頼るのではなく 体の内なるドクターを信じる』

6/17開催　53名が参加されました

小室みえこのブログ

日々の活動や考えたこと、心に響いたことなどを投稿しています。

こむろみえこblg/

●市政相談

暮らしの中で困ったこと、市へのご意見・提案など事務所にて随時受付けています。**小室みえこ**が個別にお話を伺い、解決に向けてお手伝いします。

お問い合わせ・ご連絡は…
市民ネットワーク・のだ事務所　7123-6981

小室みえこ	7125-8539	山　崎	菊地多鶴恵	7129-6088	五木新町
田口いく子	7129-4297	岩　名	村上　和子	7138-3176	三ツ堀
小林　恵子	7127-4200	日の出町	愛敬　節子	7125-0355	木野崎
滑川　邦子	7138-2388	瀬　戸	須賀三枝子	7196-2739	中　戸

会員募集中です。活動に共感してくださる方の会費・カンパをお願いします。
振込先　市民ネットワーク・のだ　口座番号　00110-6-655282（郵便局から　2000円）

お知らせ

＊毎月1日　虹いろカフェ ランチ会（要申込）
12時から2時間くらい

＊市民相談 8/8・9/5・10/3
いずれも木曜日　14時から16時
（予めご連絡いただけますようお願いします）

市民ネットワーク・のだ事務所まで
TEL/7123-6981　FAX/7123-6982